



〈11〉五高教師としての漱石

漱石は、明治29年(1896)4月から第五高等学校の英語講師(7月には教授に昇格)として教壇に立ちます。尋常中学校は、4月入学の3月卒業ですが、五高は9月入学、7月卒業でしたから、漱石は3学期からの着任ということになります。赴任早々1週間に24時間の授業を受け持つこととなりますが、松山時代と大きく異なるのは、授業だけでなく校務*もあるということです。漱石は、東京でも教師として過ごしますが、いずれも講師で、いわゆる校務はないので、熊本時代は、漱石の教員生活の中でも特別な期間だったと言えます。

愛媛県尋常中学校を退職するきっかけになったのは、生徒たちによる校長排斥運動と言われています。漱石は松山を去る理由を「生徒諸子(生徒の皆さん)の勉学の態度が真摯ならざる(まじめでない)」ためであると述べ、生徒たちへの別れの挨拶としたと言われます(景浦稚桃編述『松山に於ける子規と漱石』)。

しかし、漱石を慕い、その後を追って五高に入学した松山出身の生徒たちもいました。漱石は、松山では、英文を訳すだけでなく文法を始めとして、単語の語源まで説明するなど、1時間に数行しか進まないような丁寧な授業をしていました。しかし、五高ではものすごいスピードで読み進めていくので、松山から来た生徒たちがもう少し解釈をしてほしいと頼みました。ところが漱石は、ここは中学ではない、とどんどん読み進めていったそうです。

五高時代の教え子でのちに五高の国語の先生になった八浪則吉もまた、当時の漱石の授業について、丁寧な教え方ではなかったと述べていますが、初めて最後まで教科書を読み終えたことで非常な満足を得たと、回想しています。



▲当時の第五高等学校本館
(「漱石写真帖」より)



▲39歳の寺田寅彦
(高知県立文学館提供)

ここには、漱石の独自の教育論があったようです。ある程度まで英語を勉強したら辞書を引かずにむちゃくちゃに多読せよということです。もちろん授業では予習をすることが前提ですが、細かなことにこだわらず、少し分からないところは飛ばして読んでいっても、たくさん読書するうちに分かるようになるということです。

予習をしていかない生徒にとっては、漱石は時に皮肉を浴びせる恐い先生でしたが、まじめでさえあれば、どんなにつまらない質問をしようとも、誠意を持って接してくれる親しみのある先生だったそうです(湯浅廉孫「乞食の詩が縁」)。

明治29年9月には、文科2年、3年の生徒の願いに応じて授業の始まる前、朝7時から8時まで課外授業を行うようになります。この五高で漱石に英語を習い、生涯漱石を先生として慕った学生の1人に、有名な物理学者になった寺田寅彦がいます。彼は、漱石の死後、五高時代のこの課外授業を思い出して次のような歌を作りました。

春寒き 午前七時の 課外講義

オセロを読みしその頃の君

寅彦は漱石が「いつ迄も名もない唯の学校の先生であつてくれた方がよかつた」(夏目漱石先生の追憶)とも述べています。

*校務 …… 教職員が行うべき学校の仕事。漱石は赴任早々大学予科第一部文科2年級監督主任になっている。

(くまもと漱石倶楽部会員・熊本大学五高記念館客員准教授 村田 由美)

※左上のイラストは夏目漱石記念年イメージキャラクターです。

「草枕」国際俳句大会ジュニア部門大賞作品紹介 (文化振興課 ☎096-328-2039)

「草枕」大賞
(高校生部門)

扇風機 獺に食はれし 午後

の夢 (広島県広島県立広島高等学校1年 法正 祐真さん)

昼寝の後のなんともいえない感覚を「獺」という架空の動物を使い上手に表現しています。獺は悪夢を食べるそうですから、作者は何か悪い夢をみていたかもしれませぬ。しかし、どんな夢だったかは思い出せぬ。そんな様子を「獺に食はれし」が語っています。

月替り限定スペシャルさるく

市電の魅力再発見！ 車両工場見学ツアー



普段見ることのできない市電の屋根上や床下を見ることが出来ます。市民から親しまれている市電の仕組みを学びませんか。貸切市電にも乗れる市電満喫の2時間です。



期 日 3月28日(月)、29日(火)
時 間 午後2時～4時
場 所 熊本市交通局(集合)→変電所(交通局内)→交通局車庫→〈貸切市電〉→上熊駅前電停→上熊本車両工場
対 象 小学生以上の方
定 員 各日30人(先着順)
費 用 大人500円、小・中学生250円
申込み 3月5日午前8時半～開催日前日午後5時までに電話で以下のあて先へ

平日は(一財)熊本国際観光コンベンション協会(☎096-359-1788)へ。土・日・祝日は桜の馬場城彩苑総合観光案内所(☎096-322-5060)へ
※共に午前8時半～午後5時。

To熊カードの利用は3月31日までです

翌日の4月1日(金)以降は交通系ICカード(でんでんnimoca、くまモンのICカードなど)をご利用ください。

払い戻し手続き

払い戻し期限 平成33年3月末まで
払い戻し場所 発行元の事業者窓口(カード裏面をご覧ください)
払い戻し額 残高から割増額を引いた額
例) 1,100円のTo熊カード(1,000円で購入、100円は割増額)の残金が800円の場合(300円既に使用済)
To熊カード残額800円－割増額100円＝払い戻し額700円

※残高がプレミアム額(割増額)を下回る場合は払い戻しできません。
※3月31日までに払い戻しを行う場合は、別途手数料がかかります。4月1日以降は手数料はかかりません。
※詳しくは、お手元のTo熊カード裏面記載の各事業者へ

交通系ICカードの利用環境が拡大します

3月23日(水)から、熊本県内の路線バスや電鉄電車にて、「でんでんnimoca」や「SUGOCA」などの全国相互利用ICカードが利用できるようになります(SuicaやPASMOなども利用できます)。

詳しくは、各バス事業者・電鉄電車または市ホームページへ。



(交通政策総室 ☎096-328-2510)

熊本市コールセンター

休日在宅当番医、イベント情報、区の窓口業務など、いつでもお尋ねください

午前8時～午後9時(年中無休)

ひごまるコール ☎096-334-1500

FAX 096-370-2002 電子メールアドレス 1500@higomaru-call.jp

ホームページ ひごまるコール

検索

配布に関するお問い合わせ

市政だより配布センター

0120-887-778

午前8時～午後8時
(土曜・日曜日、祝日は除く)

今月のイチオシ

絶賛
放送中



TKU「英太郎のかたらんね」内コーナー
「市つとるね!? マナブくん」
毎週水曜日 午前10時半頃～

3月2日は13ページにも載っている「生涯学習」についてまなぶ。春だけね～新たに趣味を見つけるにはよき季節です。ぜひ見てはいよ～。

再生紙を使用しています